

市民とのかけ橋となつて

平成17年3月1日「薫風新都」小城市が誕生、第1回臨時議会が3月8日から11日まで開かれた。初代議長に徳田芳照氏、副議長に合瀬健一氏が選ばれた。続いて、各常任委員会、議会運営委員会で、委員長、副委員長を選出、小城市の議会構成が決まった。専決処分を含め19議案が提出され、質疑がなされた後、原案どおり可決された。



議長
徳田 芳照

議長あいさつ

薫風のみぎり、市民の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

このたび、小城市議会議長に選任されました徳田芳照でございます。「おぎ市議会だより」の創刊にあたりひとことご挨拶申し上げます。

ご存知のとおり、平成十七年三月一日をもって【薫風新都】くんぷうしんとの旗の下、小城市四町が合併し新たな一步を踏み出しました。しかし近年、めまぐるしく変化する社会情勢の中、目前に迫った少子高齢化への対応、行財政改革など課題は山積しております。

私たちが市議会議員一同は、多様化する市民のニーズにこたえるべく皆様の声に耳を傾けながら、公平、公正を基本に掲げ、行政と議会が一体となり、本市の発展と市民福祉の向上を目指し、職務に遂行する覚悟であります。

なにとぞ、皆様の特段のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、「おぎ市議会だより」の紙面が皆様とのかけ橋となり、市議会の活動に対して関心を持って頂き、身近なものと感じていただけましたら幸いです。

